

平成30年度

入学試験問題

(40分)

国 語

(アカデミーコース)
(特進文理国際コース)

学校法人 成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を上げて監督者に知らせなさい。
- 問題の答えは、ていねいな字で書きなさい。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数については、句読点、「」なども一字に数えるものとする。)

※

(注) 1 「母乳語」…赤ん坊にくりかえし刷り込むことで身につく、目に見えたり触ったりできる具体的な言語。

(注) 2 「離乳語」…言語発達の第二段階として、具体的な事物に結びつけずとも理解しうる、抽象的な言語。

問1 〓 線部イゝ木の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直して答えなさい。

問2 〓 線部①「万葉集」に収録されている和歌を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ちはやふる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは 在原業平

イ 春過ぎて夏来たるらし白妙の衣ほすてふ天の香具山 持統天皇

ウ 人はいさ心も知らずふるさは花ぞ昔の香にほひける 紀貫之

エ 大江山いくのの道の遠ければまだふみもみず天橋立 小式部内侍

問3 〓 線部②「ヘイ」の漢字として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 幣 イ 弊 ウ 併 エ 塀

問4 〓 線部③「おぎなりになる」の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いいかげんにすませてしまう イ 気がつくようになる

ウ そのまま身につかずすぎていく エ 優先的におかれるようになる

問5 **A** に入る最も適当な漢字一字を補いなさい。

問6 線部④「こんなこと」のさす内容を、「くこと。」につながる形になるように、本文中より二十五字以内で抜き出しなさい。

問7 **B** に入る内容として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人によく見られる
- イ 耳より目を優先する
- ウ 目がよく見える
- エ 目も耳もよく機能する

問8 **C** **E** に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア (C)むしろ D たしかに E だから
- イ (C)たとえ D なぜなら E つまり
- ウ (C)ところが D つまり E むしろ
- エ (C)たとえ D ところが E なぜなら

問9 線部⑤「二つの言語の切り換えが不充分だということは重大な問題です」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 小学校の国語では、文字を習い、具体語を抽象的な書きことばに変換するため、急いで「目のことば」を教えるが、それでは「耳のことば」が育っていないから、その結果、耳から入ってくる「授業」でものごとを聴く力が極端に衰えてしまうから。
- イ 乳児期から幼児期にかけては、書きことばではなく「耳から入ることば」を重視することで抽象的なことばへの移行がはかれるが、その切り換えがうまくいかなければ、抽象的に物事を理解し、表現するという、知的能力の基盤が育たないから。
- ウ 小学校に入ると、「目から入る言葉」、すなわち文字を習い、抽象的な物事でも理解できるようになるが、そのことで聴力を失い、ことば自体の理解があやふやになり、結局は学校での理科や社会もわからない、ということになってしまうから。
- エ 乳幼児では「目のことば」を重視するが、幼児期に入ると「耳のことば」を重視するようになり、その切り換えがうまくいかないことが知能発達を阻害し、小学校教育における理科や社会などの授業理解が不充分なものとなってしまふから。

問10 線部⑥、⑦とあるが、どこがどのように間違っているのか、それぞれわかりやすく説明しなさい。

問11 本文は、次の一文が抜けている。「I」く「IV」のどの箇所にも補うのが適当か、一つ選び、番号で答えなさい。

そのたいへん重要なものを、たつた年のうち、しっかりと身につけてしまふ人()の力には、おどろくほかありません。

【二】次の文章は「浦島太郎」の前半部のあらすじである。

浦島太郎は、二十四、五歳の若者である。ある日、釣りに出た際、釣り上げた亀を逃がしてやった。亀は、その恩に報いるため、女性に姿を変え、浦島を竜宮城へと案内し、夫婦となった。ある日、浦島が故郷へ帰る際、亀は決してあけてはならぬと美しい箱を授け、見送った。浦島が故郷に帰ると、辺りは荒れ果て七百年余りの時が過ぎていた。途方にくれた浦島は亀からもらった箱をあけてしまい、たちまち姿が変わってしまった。

これに続く、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

さて、浦島太郎は鶴になりて、虚空に飛び上がりける。そもそも、この浦島が年を、亀がはからひととして、箱の中にたたみ入れにけり。さてこそ、七百年の^①よはひを保ちけれ。あけて見るなどありしを、あけにけるこそ^Aよしなけれ。

君に逢ふ夜は浦島が玉手箱^Xあけて悔しきわが涙かな

と、歌にも詠まれてこそさうらへ。生あるもの、いづれも情を知らぬといふことなし。^Yいはんや、人間の身として、恩を見て恩を知らぬは、木石にたとへたり。情深き夫婦は、二世の契りと申すが、まことに^Bありがたきことどもかな。浦島は鶴になり、蓬莱の山にあひをなす。亀は、甲に三せきのいわぬをそなへ、万永を経しとなり。さてこそ、めでたき^Cためしにも、鶴亀を^②こそ申しさうらへ。ただ人には情あれ、情のある人は行く末めでたきよし申し伝へたり。その後、浦島太郎は丹後の国に浦島の明神とあらはれ衆生^{*1}済度し給へり。亀も、同じ所に神とあらはれ、夫婦の明神となり給ふ。めでたかりけるためしなり。

※

(注) 1 「衆生^{しじゆうじやうさいど}済度」…仏菩薩^{ぼつぼつ}などが、すべての生き物を救って、悟りの世界へ導くこと。

問1 — 線部①を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

問2 — 線部AとCの本文中における意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

A よしなけれ (ア方法がない) イ理由がない ウかいがない エつまらない)

B ありがたき (アめったにない) イありがたい ウうれしい エ美しい)

C ためし (ア試み) イ行動 ウ例 エ存在)

問3 — 線部②「こそ」は係助詞である。その結びの語を答えなさい。

問4 — 線部X「あけて」は、掛詞である。何と何が掛けてあるか、解答欄にあらうように、適当な漢字をそれぞれ一字ずつ答えなさい。

問5 — 線部Yを現代語訳しなさい。

問6 浦島太郎が玉手箱をあけるまで、元の姿を保っていた理由を、二十五字以内で答えなさい。

問7 本文の内容について述べた次の文のうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 命のあるものは、すべて情けを知っている。

イ 浦島太郎が助けた亀は、限りなく長い年月を生きた。

ウ 情けのある人の行く末は、幸せであると伝えられている。

エ 浦島太郎と亀のもとに神様があらわれ、幸せに過ごした。

